

在宅ケア講演会アンケートまとめ

平成30年3月10日開催

来場者数 120名

回収数 88

1 性別

男	女	回答なし
32	52	4

年代

30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	回答なし
4	2	15	27	26	12	2

2 参加立場（複数回答あり）

一般市民	介護家族	自治会関係	ケアマネ	介護サービス事業所
46	13	20	0	5
医療機関	行政	その他	回答なし	
5	5	2	2	

3 この講演を何でお知りになりましたか？（複数回答あり）

回覧を見た	43	
市の広報を見た	38	
新聞やラジオで知った	1	
案内通知が来た	16	
知人のすすめで	3	
その他	9	フェイスブック・HP、医院・病院、職場、会議の席等
回答なし	1	

4 講演会に参加して、参考になりましたか？

とても参考になった	60	
まあまあ参考になった	19	
どちらともいえない	4	マイクで話がよく聞こえなかった(1)
あまり参考にならなかった	0	
全く参考にならなかった	0	
回答なし	5	

5 終末期医療や在宅ケアの推進について聞いてみたいテーマなど

- ・最も身近な「酒田市」に於ける終末期医療・在宅医療・訪問看護・在宅ケアの現状を具体的に知りたい。
- ・具体的にどのようなケースがあるのか知りたい。メリット、デメリットの両面についても知りたいと思いました。

ご意見やご感想

- ・「地域包括ケアとは、まちづくりである、みんなでつくり上げるもの」という言葉が強く心に残った。とても素晴らしい講演でした。
- ・命→いのちへ 育児→育自、育地、育次 町、街→まちへ 医療機関へ勤めているのですが、忘れかけていたものを思い出させてもらいました。自分は重い(性格)と言われたことがあります。それは想いであるのであれば、杖のような支援者になってあげたいです。

- ・多職種連携は顔の見える連携ではなく心の通じる連携(対話、コミュニケーション)が大切である
→感銘を受けた。
- ・在宅ケアをお願いしたくても見てくれる家族の負担を考えると・・・見てくれる人が倒れたり、生活、仕事など考えてしまう。終末期医療や在宅ケアの事をもっと講演会や相談などいろいろしてほしい。
- ・今日はありがとうございました。仕事を持ちつつ、実家の母の介護をしております。一緒に住む家族との介護に対する考え方の相違等があり、少し大変な時もありますが、今日のお話を伺い、1つの指針というか方向性を教えていただいた気が致します。何かありましたら、地域の方に相談したいと思います。
- ・私は92才の母を看ています。一応冷蔵庫から自分で買ってきた物を出して食べる事ができます。私は母が20の子供なものですから年が近いので、自分が先に死んでしまうのではと心配があるのです。それなりに自分の気持ちは決まっていますが・・・とても良かったです。
- ・講演を聞き、3年前に他界した父、90才で一人暮らしの母のこと・・・考えることが、ありました。在宅ケアの看護師として働いている姪がいます。夜中の当番制などあり、容易でない職業だと思う。しかし、なくてはならない仕事である。ありがたい!! 本人もやりがいを感じ、はりきっているようです!
- ・今日の講演を聞いて自分の両親の看取り時(病院)の対応が両親にとってよかったのか考えさせられた。若い人達にも参加して欲しいと思う。又、呼びかけもして欲しい。
- ・テレビで見たことですが、一人暮らしの寝たきりの男性が在宅で心地良く暮らしている様子でした。なぜ一人暮らしで寝たきりの人が在宅で心地良く暮らせたのでしょうか。それは、グループを組んでみている人たちがいたのです。そのグループは医師、看護師さん、ヘルパーの人たちがスクラムを組んで24時間体制でみえてくれたのです。東京でのある地域でした。酒田もこんな体制ができて欲しいと願っています。(お医者さんは最期の看取りにも立ち会ってくれていました)
- ・日頃考えていないことを考える良い機会になった。
- ・自分の母、自分の未来を考えたい。
- ・在宅ケアの経験はまだありませんが、いろいろな方の言葉がとても勉強になり、自分自身の生き方にとっても、良かったです。
- ・時間のわりには範囲が広すぎます。もっとせまくゆつくりと話を聞きたいです。自治会単位で膝を交えて話をする機会があればもっと地域で共有できると思います。いのちのものがたりを共成したいと思います。
- ・在宅ケア、死について深く考える良い機会になりました。
- ・終末期医療のこと、考えていきたいと思いました。現在は何も考えていませんでした。
- ・夫婦とは、同じ立場で日々暮らして行く方が良い。日頃から医者、看護師、ケアマネジャーとの連携が大事と思いました。
- ・とてもよい講演でした。もっとこのような講演に住民が多く参加してもらえると在宅ケア、最期の自分のあり方を考えられる方が増えるのかな?と思います。
- ・ナラティブブック、初めて聞きましたが、医療情報だけでなく、本人もいろいろ書きこめる、すごいツールだと思います。
- ・在宅医療やケアの素晴らしさはよくわかるし、理想だと思うが、支える体制がまだまだ未整備で家族の負担が大きすぎると思う。ナラティブノートも素敵ですが、伊藤先生が大変すぎませんか? 多老多死社会において自分らしく生きて死ぬのは簡単ではないと思います。
- ・小生として、かゆいところに手が届いた講演で大変参考になりました。
- ・エンディングノート配布に感謝します。
- ・エンディングノートをいただいたのはとても嬉しかった。

- ・生と死は続いている 生きてきたように死んでゆく なんとなく心にしみてきました
自分らしく暮らしてゆこうと・・・
- ・心に浸み渡るお話をありがとうございました。生きる 死 とか 哲学的 基本的なお話だったと思います。
- ・今回のような講演会や研修会をもっと企画していただきたい。一市民として、できることを探していきたいと思った。自分のために!
- ・とても、今後の事を考えると不安な事なので参考になればと思って講演会に来ました。
お話を聞いて文章の書いてある物があり、家に帰ってからも改めて考える事ができ、
自分の考えと似たような所があって、とっても嬉しかった。
- ・藤原リヨさんの笑顔で伊藤先生のお人柄がわかる気がしました。気分良く帰宅できます。
ありがとうございました。
- ・大変よいお話、ありがとうございました。さっそくエンディングノートを書きたいと思いました。
残り少ない人生ですが先生のお話、ためになりました。又お話も聞きたいです。
- ・ぜひ、もう一度、酒田で講演会お願い致します。

質問、お礼、苦情等

- ・自分は身寄りのない独居老人になると思います。最後まで自分の家で過ごすことができるのか?
誰に看取ってもらえば良いのかがわかりません。
どこに?誰に?相談すれば良いのでしょうか?

※ マイク・音響に関する苦情 音が反響して聞き取りにくいなど 4件

※ 暖房に関する苦情 会場はきれい大きくてよかったが思ったより寒かったなど 2件